

2 - 1 東北地方およびその周辺の微小地震活動 (1977年5月～1977年10月)

Microseismic Activity in and near the Tohoku District
(May, 1977 ~ October, 1977)

東北大学理学部
Faculty of Science, Tohoku University

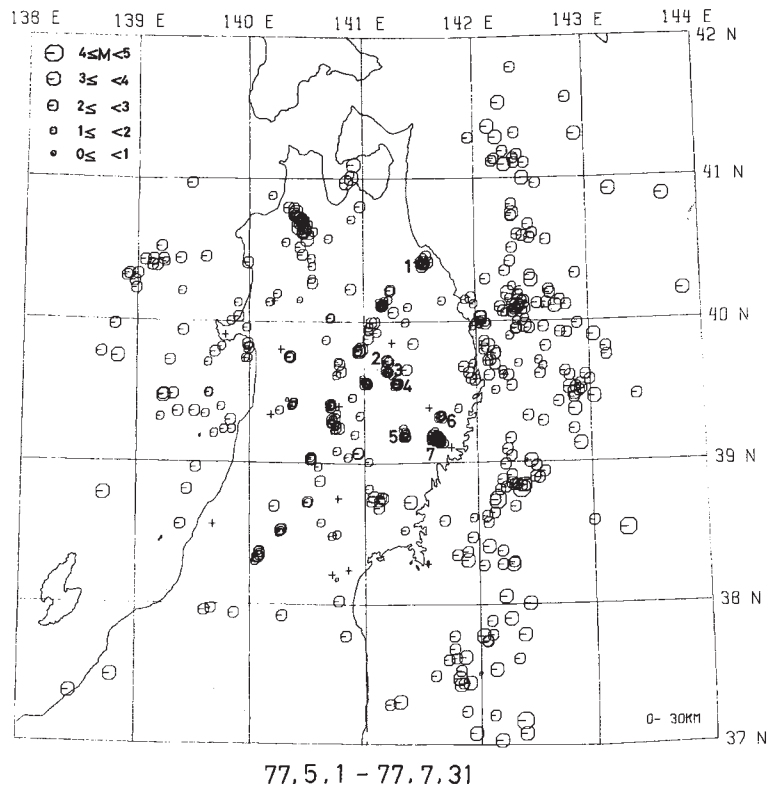
前報¹⁾に引き続き、1977年5月～1977年10月の期間における微小地震活動について報告する。

第1図および第2図はこの期間における各3ヶ月毎の浅発地震(深さ30Km以浅)の震央分布図である。三陸沖の特徴的な分布、脊梁付近に沿った活動、日本海沿岸地域における活動、に大別される活動分布のパターンは大局的にみてこれまでの期間と変わらない。図中に数字(1～7)を付した極めて密集している活動はいずれも砕石発破である。前報¹⁾で指摘した日本海の39.1°N, 139.2°E付近の空白域らしきものの北端に、8月5日～9月22日の極めて短期間に活発な地震活動がみられた。約40個の地震が震源決定されているが、その半数が8月5日～7日の間に発生している。

第3図は観測網直下38°N～41°N, 140°E～142°Eの領域内に震源決定された深さ50Km以深の稍深発地震の各観測点におけるP波走時残差を示したものである。用いた地震は8点以上の観測点で震源決定されたもののみであるが、テレメータ観測以来、P波走時残差の時間変化は認められていない。

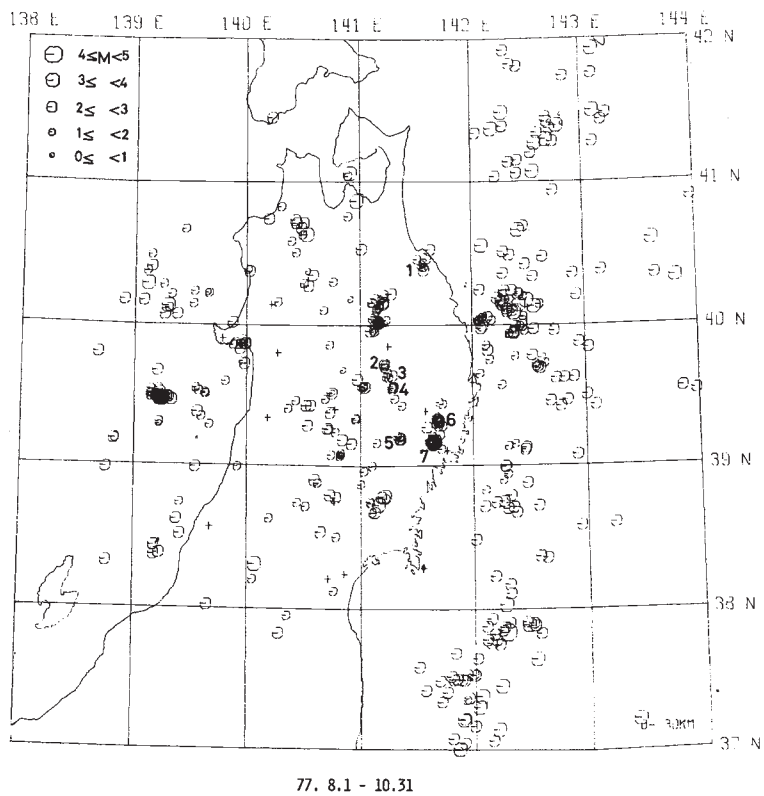
参 考 文 献

1) 東北大学理学部：東北地方およびその周辺の微小地震活動(1976年11月～1977年4月), 連絡会報, 18(1977), 9-12.



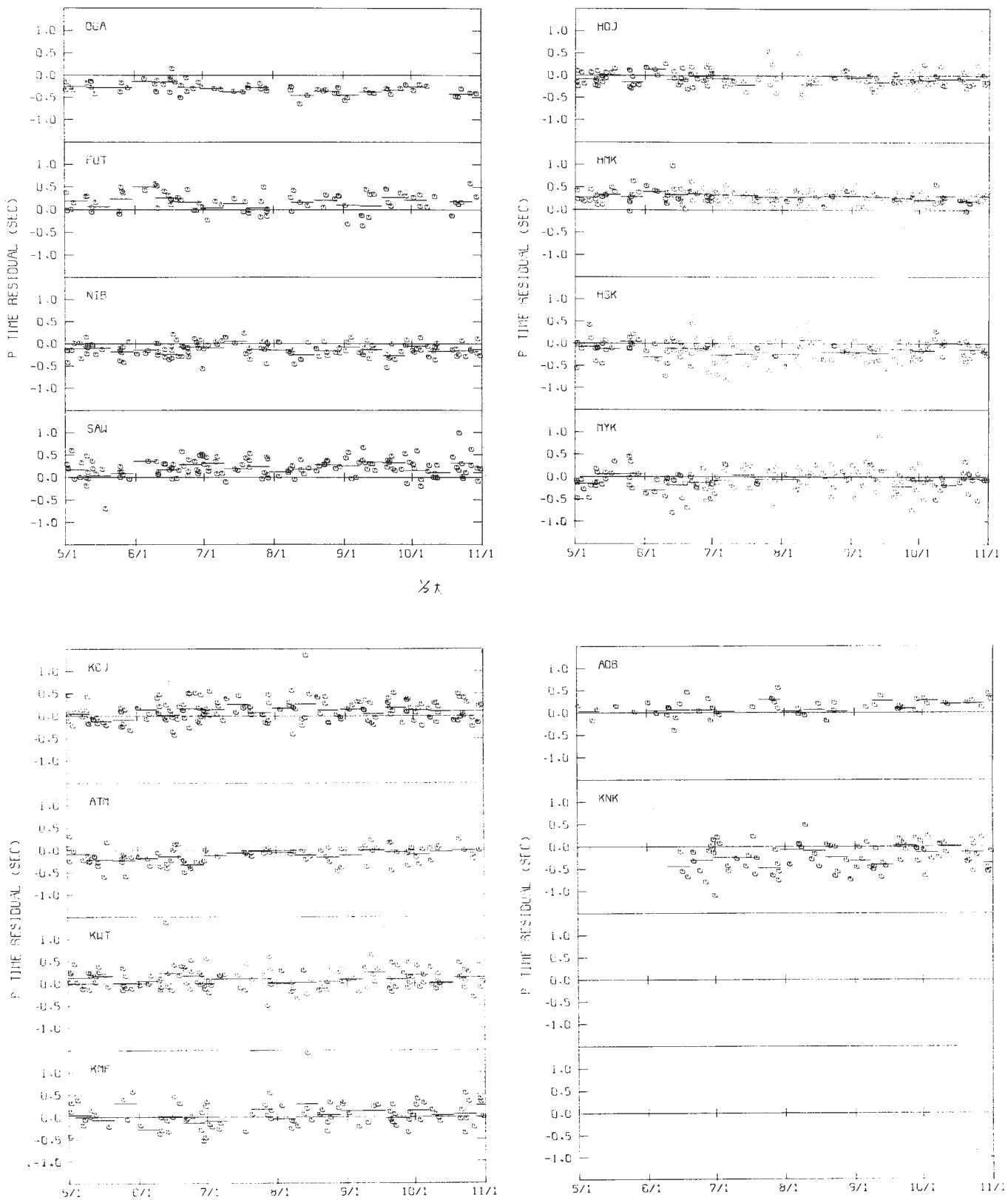
第1図 東北地方における浅発地震の震央分布 (1977年5月～1977年7月)

Fig. 1 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (May, 1977 ~ Jul., 1977).



第2図 東北地方における浅発地震の震央分布 (1977年8月～1977年10月)

Fig. 2 Epicenter distribution of shallow earthquakes in the Tohoku District (Aug., 1977 ~ Oct., 1977).



第3図 P波走時残差の時間的変化
 Fig. 3 Temporal variation of P time residuals.